

第16回HL7セミナーのご案内(7月13日)

来る7月13日の日本HL7協会通常総会の前後にHL7セミナーを開催します。今回も初心者向け(午前の部)と経験者向け(午後の部)の2コース用意した他、**韓国慶北大学教授、ISO/TC215議長であるProf. Yun Sik Kwak先生の特別講演**も企画しました。セミナー終了後には懇親会もあります。ふるってご参加下さい。

※会場にて「HL7V3入門」の会員向け特別販売もいたします。冊数制限を解除しますので、この機会をお見逃しなく。

- 日時:平成16年 7月 13日(火)10:00 から19:00 まで(セミナー終了後の懇親会含む)
- 会場:全国家電会館 5F大講堂 東京都文京区湯島 3-6-1 TEL03-3832-4291
- 参加費:日本HL7協会会員は無料、一般5,000円(当日会場で申し受けます)
- 内容:

午前の部:初心者向け 10:00~11:30

1. 初心者向けセミナー 浜松医大 木村通男先生 30分
【概要】初めてHL7に接する全くの初心者対象の入門コースです。
2. HL7 V2.x メッセージ入門 大塚製薬 川真田文章部長 60分
【概要】今使えるV2.xメッセージの体系や組み立て方などについて臨床検査データ交換を例にご説明いたします。

(日本HL7協会平成16年度通常総会 13:00-13:30)

午後の部:経験者向け 13:40~15:40

3. HL7サントニオ会議概観 日本光電工業 平井正明部長 15分
【概要】この5月に米国サントニオで開催されたHL7協会春期作業部会(WG)の概要をご説明します。
4. HL7と各国事情 JAHIS特別委員 長谷川英重氏 15分
【概要】HL7がEHRの機能モデルの標準化を行いつつ、HDF他の拡張を進めています。米国もオーストラリア、カナダや英国を参考に国を挙げてのNHIIを宣言しました。各国の状況をまとめてご説明します。
5. HL7 CDA 東芝住電医療情報システムズ 村上英氏 30分
【概要】電子カルテを含む、診療に関する文書(Clinical Document)を電子的に交換するための標準であり、国内外で関心が高まっているHL7 CDA(Clinical Document Architecture)について、現行の第1版および現在制定中の第2版の概要をご説明します。
6. HL7 V3の動向と開発事例 (財)先端医療振興財団 増田剛先生/神戸大学 星本弘之先生 30分
【概要】HL7 V3の概要、海外および日本国内の動向、開発事例を説明します。
7. 「CDISCとHL7の連携」金沢大学医学部附属病院 古川裕之先生 30分
【概要】国内におけるCDISCの認知状況やUSAにおけるCDISC とHL7との話し合いの進行状況についてご説明します。

特別講演:16:00-17:15

8. 韓国における医療情報プロジェクトの現状とアジアにおける国際標準化の動向
韓国慶北大学教授、ISO/TC215議長 Prof. Yun Sik Kwak先生 75分
【概要】韓国における医療情報プロジェクトの状況とアジア諸国における国際標準化の動向をご説明します。

(懇親会 17:30-19:00)

※各プログラムの時間配分、テーマは若干変更になる可能性があります。適宜、このWebへ反映しますので必要に応じてご確認下さい。

■ 申込み方法

参加申込書に事務局宛郵送またはFAXでお送り下さい。会場の定員の都合がありますので、お早めにお申し込みください。

[事務局／申込先]

東京都港区虎ノ門1丁目19-9(虎の門TBLビル6F) 〒105-0001

保健医療福祉情報システム工業会内 日本HL7協会事務局

TEL(03)3506-8010 FAX(03)3506-8070 担当 [蛭名](#)

■参加申込書(含む案内): [PDF形式](#)、[Word形式](#)